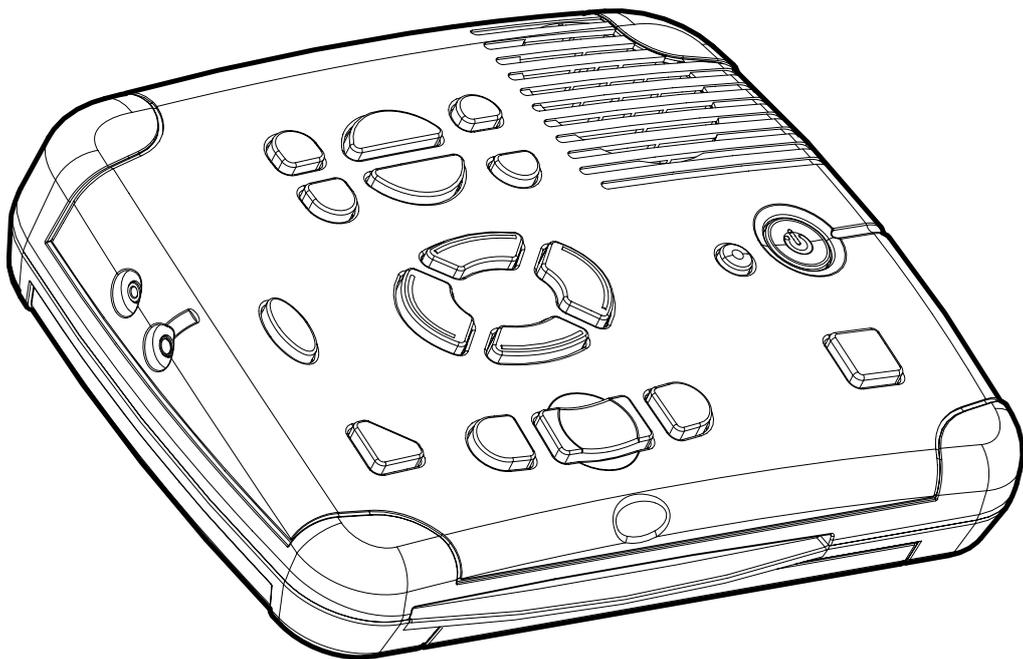


PLEXTALK®

プレクストーク PTN1

クイックガイド



 PLEXTOR

簡単カバー装着状態での基本操作

この度は PTN1 をお買い上げいただきありがとうございます。

最初に、本機へ簡単カバーを装着した状態での基本的な操作を説明します。詳しくは取扱説明書 CD をお聞きください。

●同梱品をご確認ください

- ・プレクストークプレーヤ 1台
- ・電源アダプタ 1個
- ・基本操作ガイド（カセットテープ）1個
- ・クイックガイド 1冊（本書）
- ・取扱説明書CD（DAISY版）1枚
- ・保証書 1枚
- ・同梱品一覧表 1枚

1. 電源アダプタを接続します

電源アダプタを、本機の DC 入力端子①とコンセントに接続してください。

注：①などの番号は次のページの図の番号に対応しています。

2. 電源を入れます

電源キー③を押し続け、起動音が鳴ったら手を離します。

3. CD を入れ再生します

付属の取扱説明書CDをケースから取り出し、本機のCD挿入取り出し口②から入れます。自動的に再生が始まります。

4. 音量を調節します

音量アップキー⑤または音量ダウンキー④

5. 再生を停止します

再生中に再生停止キー⑦を押し、停止します。

6. CD を取り出します

取り出しキー⑩を押します。CDが自動的に排出されます。

7. 電源を切ります

電源キー③を押し続け、操作音が鳴ったら手を離します。

— その他の機能 —

早送り、早戻しをします

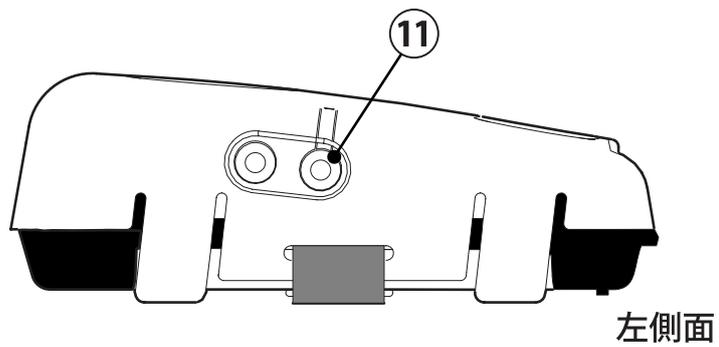
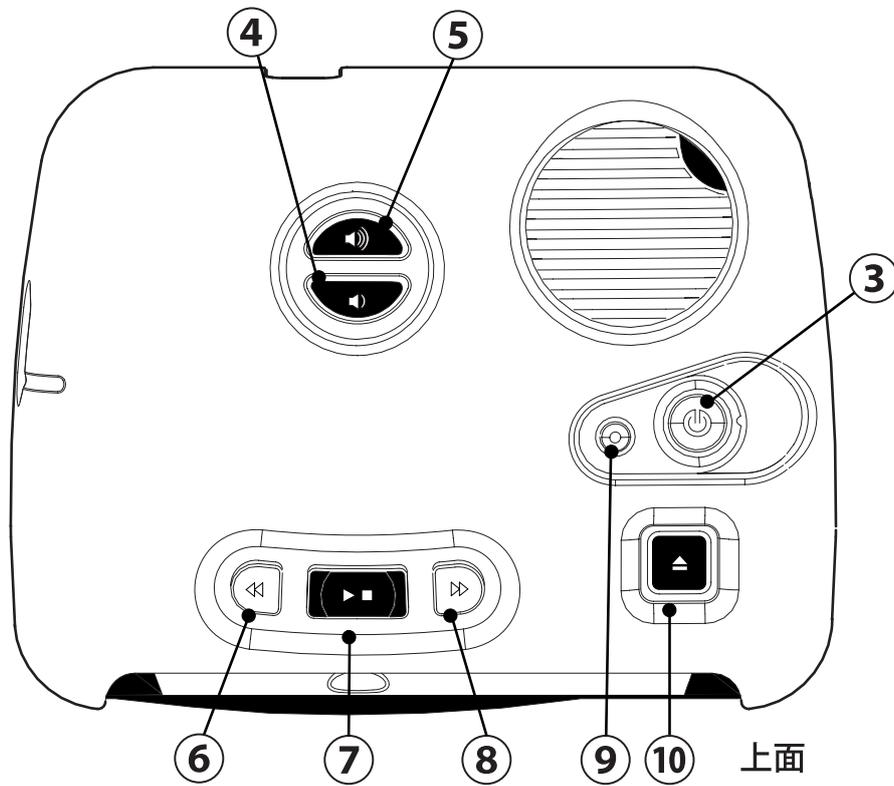
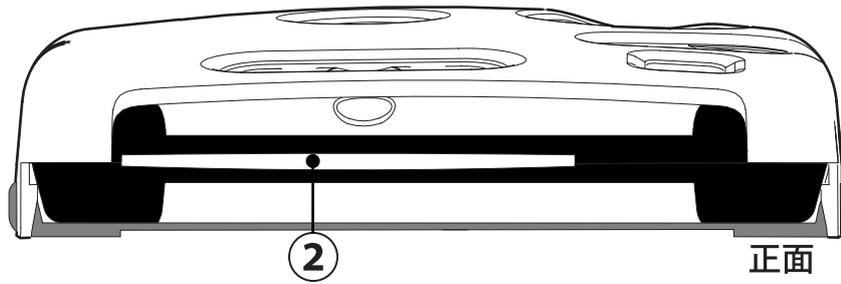
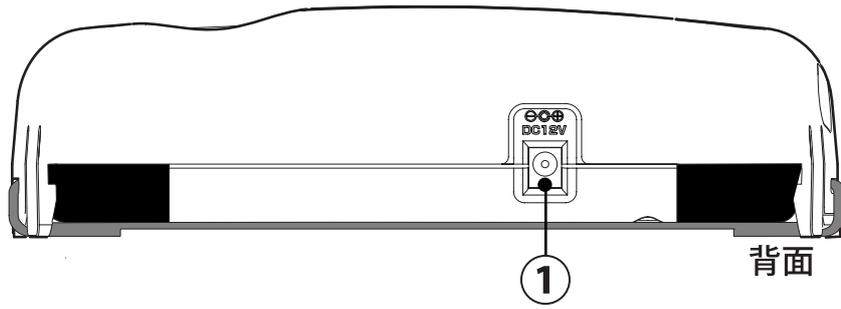
早送りキー⑧を押すと、1フレーズ先に移動します。押し続けると、早送りとなり、手を離れたところから再生されます。早戻しは、早戻しキー⑥を押します。

おやすみタイマーを設定します

おやすみタイマーキー⑨を押します。

ヘッドホンを使用します

ヘッドホンジャック⑪にヘッドフォン端子を挿して使用します。



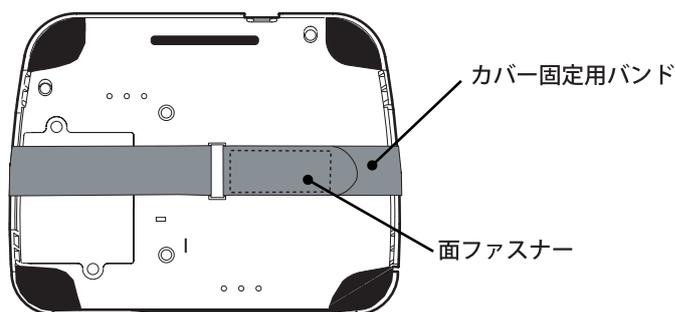
簡単カバーの着脱方法

簡単カバーの着脱方法について説明します。
着脱の際には、カバーの取扱いには十分お気をつけください。
また、本体の電源を切った状態で着脱を行う様にしてください。

○カバーの外し方

1. 製品裏面をご確認ください

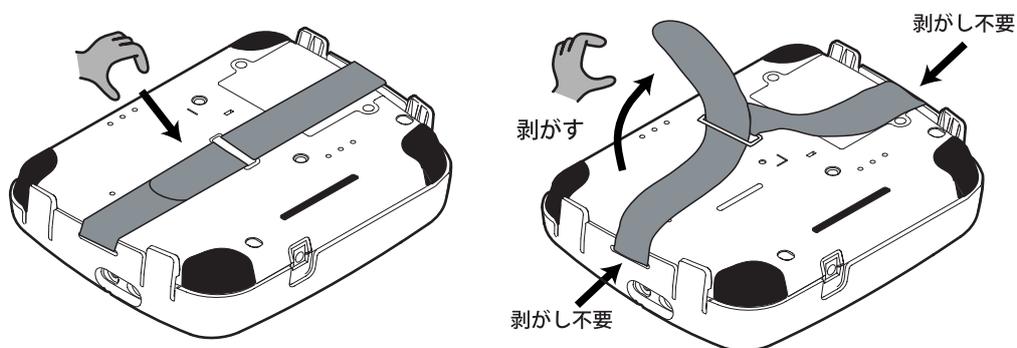
裏面中央部に、カバー固定用バンドがあります。
カバー固定用バンド結束部は面ファスナーになっています。



2. カバー固定用バンドを外します

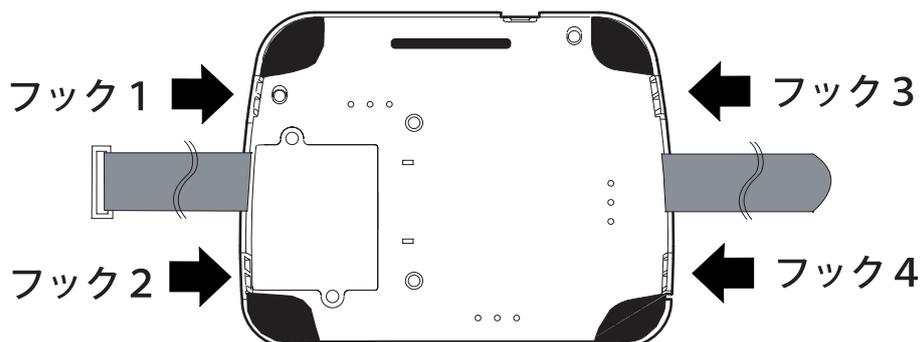
カバー固定用バンド中央の、面ファスナー結束部を剥がしてください。
次に、金具に通してあるカバー固定用バンドを外し、カバー両脇に広げてください。

(注意！：両側面の結束部は剥がす必要がありません。)



3. カバー両側面のフック形状を確認します

カバー両側面にフック形状が合計4箇所ある事をご確認ください。



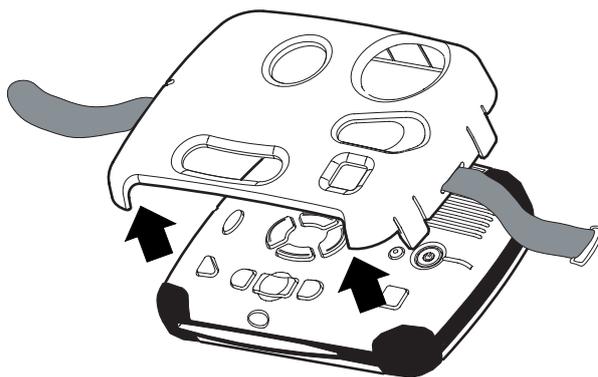
4. カバーを外します

カバーのフックを外側に広げ、カバーを本体から外してください。

カバーを外す際には、製品表面を上にと外し易くなります。

(注意! : フック形状は過度に広げない様にご注意ください。フック形状部を破損してしまう可能性があります。)

: カバーを外す際、製品を強く揺すったりしないでください。また、カバーを外した後に本体が落下する可能性があります。着脱操作の際は、必ず机などの安定した場所の上で行ってください。)

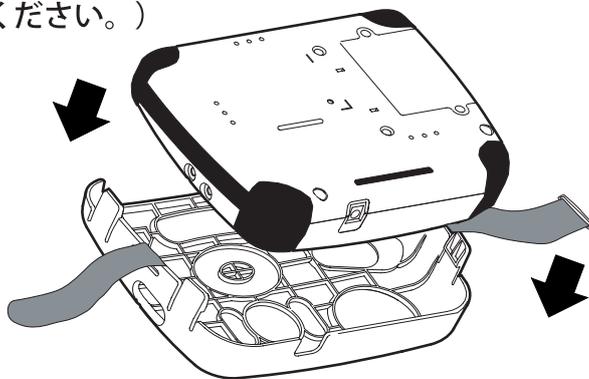


○カバーの取り付け方

1. 本体にカバーを取り付けます

両側面のフック形状が本体に引っ掛かるまで、本体を簡単カバーに押し込みます。

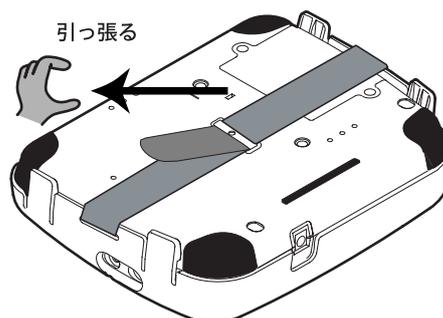
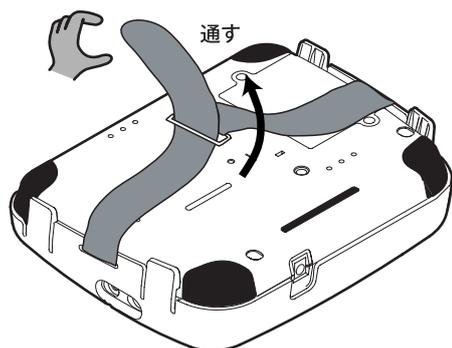
(注意! : カバーを取り付ける際には、本体との向きが合っている事を確認してから行ってください。)



2. カバー固定用バンドで結束します

金具に片方のカバー固定用バンドを通して、面ファスナー部で結束します。

カバー固定用バンドに『緩み』が無い様に、引っ張り調整を行ってください。



簡単カバー取り外し状態での基本操作

簡単カバーを取り外した状態での基本的な操作を説明します。詳しくは取扱説明書 CD をお聞きください。

1. 電源アダプタを接続します

電源アダプタを、本機の DC 入力端子①とコンセントに接続してください。

2. 電源を入れます

電源キー⑱を押し続け、起動音が鳴ったら手を離します。

3. CD を入れ再生します

付属の取扱説明書 CD をケースから取り出し、本機の CD 挿入取り出し口②から入れます。自動的に再生が始まります。

4. 音量を調節します

音量アップキー⑦または音量ダウンキー⑥を押し、音量を調節します。

5. 再生を停止します

再生中に再生停止キー⑬を押し、停止します。

6. CD を取り出します

取り出しキー⑰を押します。CD が自動的に排出されます。

7. 電源を切ります

電源キー⑱を長押しし、電源を切ります。

— その他の機能 —

再生スピードを調整します

速く聞きたいときは、再生スピードアップ⑨を押します。ゆっくり聞きたいときは、再生スピードダウンキー⑧を押します。

トーンを調整します

高音を強調したいときは、トーンアップ⑤を押します。低音を強調したいときは、トーンダウンキー④を押します。

早送り、早戻しをします

早送りキー⑮を押すと、1フレーズ先に移動します。押し続けると、早送りとなり手を離れたところから再生されます。

早戻しは、早戻しキー⑫を押します。

レベルを選択して移動します

十字キー⑭の上キーでレベルを上、十字キー⑭の下キーでレベルを下に移動し、移動するレベルを選択します。そのレベルで次の見出しに移動するときは十字キー⑭の右キーを押します。十字キー⑭の左キーで前の見出しに移動します。

しおりを付けます

しおりを付けたい場所でしおりキー⑪を押します。再生停止キー⑬を押します。

付けたしおりに移動します

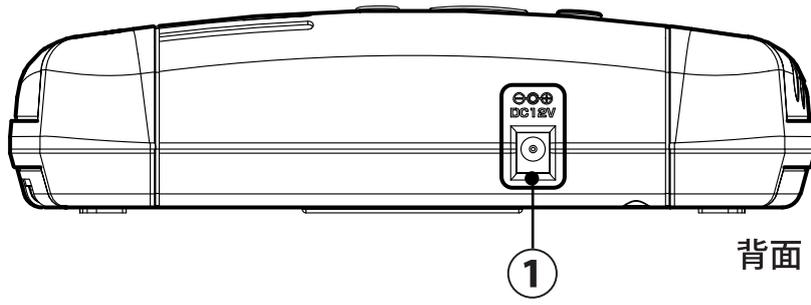
十字キー⑭の上下キーを押ししおりのレベルを選択します。左キーまたは右キーを押すことで、前又は次のしおりに移動します。

CD の情報を聞きます

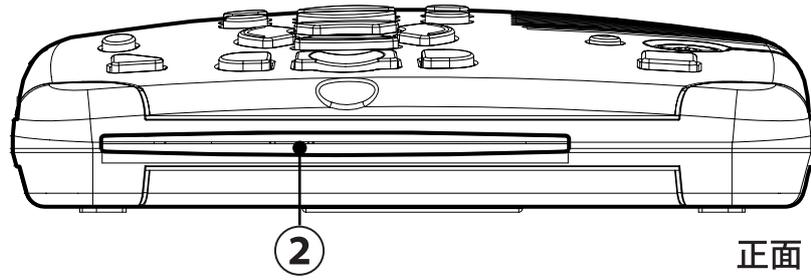
情報キー③を押します。

おやすみタイマーを設定します

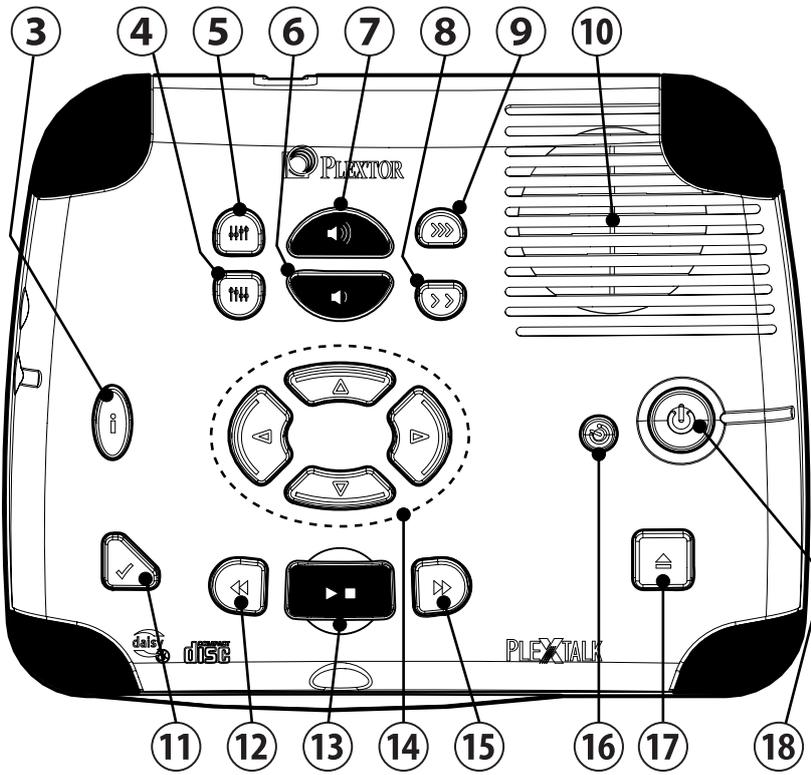
おやすみタイマーキー⑯を押します。



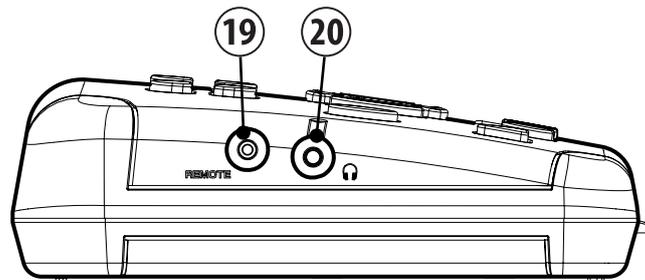
背面



正面



上面



左側面

安全にお使いいただくために

本機は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

1 本文中の絵表示について



この記号は、注意喚起を示しています。



この記号は、行為の禁止を示しています。



この記号は、行為の強制を示しています。

2 警告

以下の内容を必ずお守りください。誤った取扱をすると、人体に重大な損傷を負う恐れがあります。



本機を開けて勝手に修理しないでください。カバーを取ると電流やレーザー光線が放射されることがあり危険です。修理はプレクストークお問い合わせ窓口にご依頼ください。



本機を濡らしたり、お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災や感電や故障の原因になります。



本電源コードの電源プラグは100V専用です。他の電圧で使用する場合は、そのコンセントに合った電源プラグに交換してください。なお、本電源アダプタの仕様は100V～240V（50／60Hz）です。



付属の電源アダプタ、電源コード以外は、使用しないでください。また、たこあし配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



電源アダプタ、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、挟んだり引っ張ったりすると傷つき、火災や感電の原因となります。



電源プラグについたほこりは定期的にお取りください。また、電源コードの接続は、根元までしっかりと差し込んでください。ほこりが火災の原因になります。



光ピックアップから放射されるレーザー光線は目など人体に有害です。内部をのぞきこまないでください。



ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電の原因になります。



上にものを置いたり、布やビニールシート等をかぶせないでください。通気性の悪い場所には置かないでください。機器内部の冷却が不十分になり、火災や感電の原因になります。

3 注意

以下の内容を必ずお守りください。誤った取扱をすると、人体に損傷を負う恐れ、または物的損害が発生する恐れがあります。



本機は傾いた場所や不安定な場所を避け、必ず水平な状態でご使用ください。また、垂直に立てかけたりしないでください。故障の原因となります。



本機を落としたり、揺らしたりしないでください。故障の原因となります。



本機の中にメディアを入れた状態及び電源アダプタを付けたままでの持ち歩き、移動運搬はおやめください。感電や故障の原因になります。



本機は長時間使用すると温かくなることがあります。長時間皮膚の同じ個所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどを負っている恐れがありますので、本機に長時間触れないでください。



ヘッドホンを長時間使用すると聴覚へ悪影響を及ぼす恐れがありますので、ヘッドホンを長時間使用しないでください。



本機の汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布を使用し、水や洗剤・溶剤などの液体がかからないようにご注意ください。シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などは本機の表面を痛めますのでご使用にならないでください。また市販のCDレンズクリーナーはご使用にならないでください。

CDの取り扱いについて

- CDは指で中央の穴と外線を挟むように持ってください。
- CDを落とす、重ねる、重いものをのせる等、強い衝撃を与えないでください。
- データを記録している面には触らないでください。
- CDのレーベル面に、ラベル（全面タイプ、部分タイプ）などを貼らないでください。CDの取り出しができない、CDの記録面に傷がつく、再生ができない等の故障・不具合の原因になります。
- CDの保護のため、元のパッケージやケースなどに入れて保管してください。
- CDに汚れが付着しないようにしてください。

CDのクリーニングについて



CDにほこりが付着している場合は、エアースプレーや市販のクリーニングクロス（布）を使って中心から放射状方向に向かってCDを傷つけないようにクリーニングしてください。

電波障害について



本機はテストを受けた結果、住宅内での設置による電波障害からの保護を目的として定められたFCC規格の15章に従う分類Bデジタル装置向けに設けられた規制に合ったものと認定されました。ただし、どのような装置でも電波妨害がまったく生じないという保証はありません。本機がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは本機の電源のON/OFFを切り替えることで確認できます。

本機が原因の場合は次の方法をお試しください。

- ・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
 - ・本機と受信機の距離を離す
 - ・本機と受信機のコンセントを別々にする
-

4 レーザーに関する注意

レーザーに関する注意

取扱説明書に規定した以外の手順による操作を行うと、危険なレーザーを浴びることになります。光ピックアップから放射されるレーザーは目に見えないため、誤って目にいれたり、人体に触れる可能性があります。したがって、本機を分解しないでください。

レーザー安全基準

本機は、レーザーに関する安全基準であるIEC60825-1に適合したクラス1レーザー製品です。

5 バッテリーについての安全上の注意

漏液、発熱、発火、破裂による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

5. 1 危険

①バッテリーから液がもれたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

②火の中にいれないでください。また、火のそばや炎天下、高温になった車などで放置したりしないでください。

③ショートさせたり、分解しないでください。また、電子レンジやオーブンなどで加熱しないでください。

④バッテリーは水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡れた状態で使用しないでください。

5. 2 警告

①付属のバッテリーを使用してください。

②バッテリー内の危険防止の保護回路が壊れることがありますので火のそばや炎天下、高温になった車などで放置しないでください。

③ハンマーでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。

④水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさないでください。

〒386-0498

長野県上田市上丸子1078

シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口

電話：0570-064177

なお、IP電話、光電話をご利用の方は0268-43-8151に御連絡ください。

(月～金 9:30～12:00 13:00～17:00 土・日・祝・祭日は休業)

ファクシミリやE-mailは、常時受け付けております。

FAX : 0268-42-2923

E-mail : plectalk@skcj.co.jp

ホームページ : <http://www.plectalk.com/jp/>

127-2839907 2012/12